作文・ポスター部門 **大 賞**

例え小さな事でも

清瀬第五中学校 2年 鈴木 明

ある朝、僕の母がゴミ集積所に出したはずのプラスチックごみが回収されずに置いてあり、母がそれを持ち帰ってきました。原因は、回収できない製品の一部が混ざっていたためでした。「この部品はプラステックでできて

を何年ここに

清瀬第二中学校 2年 武市 芽依

いるのに、どうしてだろう。」と、母が市のホームページで調べたところ、プラスチック製であっても、パッケージなどの物以外は回収できないという事でした。僕はこの事を通じて、ごみ問題に関心を持つようになりました。以前、町の清掃ボランティアに参加したときも、道ばたに平気でゴミを捨てていく人がいる事が許せませんでした。

今プラスチックごみは世界的な問題になっていて、よくニュースなどでも取り上げられています。その中でも、僕がとてもショックを受けたニュースがあります。それは、海で保護されていたジュゴンの胃袋から、た

まった海洋プラスチックごみが出てきて、これが原因で体調悪化をおこして死んでしまったというニュースです。人間が軽い気持ちで捨てたゴミが他の生き物の生命をうばってしまったかもしれないのです。

このようなことにならないためにはどうしたら良いのか、自分にできる事は何かと考えたところ、それはやはり、目の前のとても小さな事からでも、コツコツと努力していくしかないのだと思いました。例えば、ゴミの分別を決められた通りにきっちりと行う、リサイクルできるものはする、ということが環境保護のために大切だと思います。

僕は、町のリサイクルボランティ アに参加したこともあります。町の 人達から、いらなくなった CD や DVD、衣 類や食器、家電などを集めて寄付をするボ ランティアです。その時にたくさんの人達に 協力してもらい、数えきれないほどの量が集 まりました。そこでの人とのふれあいも楽し かったです。そしてみんなで力を合わせてあ つめたものが、少しでも世の中の役に立つと いうことがとても大切な事だと改めて知る事 ができ、嬉しかったです。リサイクルをせず に放っておいたら、ただのゴミになっていた 物たちが、新たな役割を担って旅立っていく というのも嬉しかったです。

ヨーロッパでは、プラスチック製の使い捨て製品の使用を規制し、海洋汚染を防ごうとしています。日本でも同じように、プラステックの使い捨て製品の使用をやめる運動がひろがりつつあります。

僕はボランティア経験を通じて、 一人の人間にできることは小さなことかもしれないけれど、大勢で力を 合わせれば、問題は改善されるのではないかと思いました。ですがそれは難しい事でもあります。それでも 少しずつ他の人へと働きかけていく ことこそが、改善への道なのかもしれません。

ヘルプマークについて

清瀬小学校 6年 金澤 優芽

みなさんはヘルプマークを知っています か。

妊娠してる人が優先席に座りやすいように付けるマタニティマークを知ってる人は多いと思いますが、私は父が病気になるまではヘルプマークについて全く知りませんでした。

ヘルプマークには赤字に白い十字模様と白 いハートが描かれています。カード型・バッ ジ型・シール型・タグ型など形は色々ありま



清瀬第四中学校 2年 綾木 真緒

すが、カバンなどの見やすいところに付けている人が多いので、外出した時に少し注意して問りを見てください。

私の父は重い心臓病になり、今は普通の人の三分の一しか心臓が動いていません。一生懸命リハビリをして歩けるようになりましたが、長時間立っていたり歩いたりすると、私たちが全力疾走した後のように、息が切れて疲れてしまいます。けれども体の中の病気なので、外側からは具合が悪いことがわかりません。だから、もし父が優先席に座っていたら「若いくせに!」と注意されてしまうと思います。そんな、人から見えにくい問題をか

かえている人のためにあるのがへル プマークです。

ヘルプマークを付けてる人を手伝 おうとしても、注意しなくてはいけ ないことがあります。それは、その 人その人によって助けて欲しいこと が違うということです。ヘルプマー クを付けている人の中には、耳の不 自由な方や知的障がいの方、パニッ ク障がいの方もいます。それらの 方々は、全員が父のように席をゆ ずって欲しいというわけではないの です。

耳が聞こえない方は電車が急に止まってしまった時、車内アナウンスを聞くことができません。そんな方には手話や筆談で状況をおしえてあげることがその方の助けになりま

す。同様に、知的障がいやパニック障がいの 方にもそれぞれ必要としていることが違うの です。なので、ヘルプマークを付けている人 が困ってるようだったら「何かお手伝いでき ることはありますか?」と声をかけるのがい いと思います。

声をかけたり席をゆずったりすることは勇気がいることだと思います。実は私も少し苦手でした。でも、電車やバスでの父のヘルプマークに気付いた方が父に席をゆずってくれるのを見ると、本当にありがたくてうれしく思います。そして、様々な事情をかかえた人達が安心して社会にとけこめる優しい世の中



清瀬第六小学校 6年 山口 夢果

にしていきたいなと考えるようになりました。

どうかみなさん、体の不自由な人やマタニティマークを付けた人、ヘルプマークを付けた人、ヘルプマークを付けた人、電車やバスで会ったら目を合わせなかったり寝たふりをしたりせず目を向けてもらえるとうれしいです。みなさんの優しさと勇気で助かる人が本当にいるのでお願いします。もちろん私も勇気を出して頑張ります。

ひいおばあちゃんと話すには

清瀬第七小学校 5年 森 由羽

わたしは、夏休みに名古屋に住んでいるひいおばあちゃんに会いに行きました。ひいおばあちゃんは今年で九十二才になります。ひいおばあちゃんは、耳が遠くて両耳にほちょう器をつけています。わたしが話かけると聞こえてないようにみえるけど、お母さんが話をしているとふつうに話ができていました。わたしは心の中で「なんできこえないんだろう。」と思いました。そのあと車でひいおばあちゃんに聞こえる声で話そうと思いきり大きな声で話したら、「もうちょっと小さくしてふつうの声でしゃべってね。」といわれました。後でお母さんに、「低い声でゆっくりはっきりとしゃべると聞こえやすいんだよ。」



清瀬第七小学校 5年 黃瀬 柚音

こえにくく

大きな音はうるさく感じること、早口の声は わかりにくいということが分かりました。わ たしは、このことについて調べてわたしの話 し方はひいおばあちゃんにとっては、聞こえ にくい話し方をしていたんだなと気付きまし た。

ひいおばあちゃんは、しゅ味でプールとグランドゴルフをやっています。なぜこのスポーツをやっているのかというと周りの人とあまり話さなくても楽しめるからだそうです。また、むすめ、孫ふうふ、ひ孫三人という大家族で住んでいるのにみんなの声が聞こえないのでさみしいといっていました。ひいおばあちゃんは、昔から友達が多くて話が好

きだけど、みんなの声が聞きとりにくいのであまりはなさなくてさびしがっていると、お母さんから聞いて、わたしはかわいそうだなと思いました。次回会うときには、ひいおばあちゃんが聞こえやすく、楽しく話ができるようにしたいです。

これを通じて、おたがいが楽しくお話するためには、相手のことを知って相手のことを思う気持ちが大事だと思いました。さらにたくさんの人がなんちょうの人にどう話したら聞こえやすいかをみんなが知る事が大事だと思いました。また耳が遠い人だけじゃなくて、色々な人々のことを知ってたくさんの人とつながりをもつ事が大事だと思いました。



清瀬第三小学校 4年 久保田 桃子

学習発表部門大賞

清瀬の自然は宝物

清瀬第八小学校 4年 舘山 文哉

清朝第八十字校4年 銀山文哉

清瀬の自然は宝物 その名は…

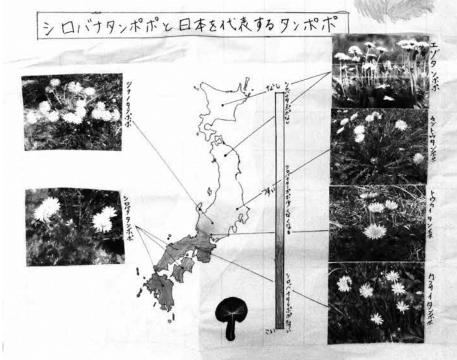
ぼくが調べようと思った理由

3月29日おじいちょんが白い花のタンポポを見つけた詰をしてくれました。「武は見たことがないので 次の日、いっしいこりメラを持て見い行ってら誰かが花をちぎってしまっていて見ることが、できませんでした。多く気で どうしても見たかったのでおいいかんとお兄の人と清瀬市内を告いてさがしまわりました。

5月5日、フルビ川金山公園の北がわて見っけることがてきました。こんがに見っかいなかたので、この花を部門べることにしました。 その名は・・・







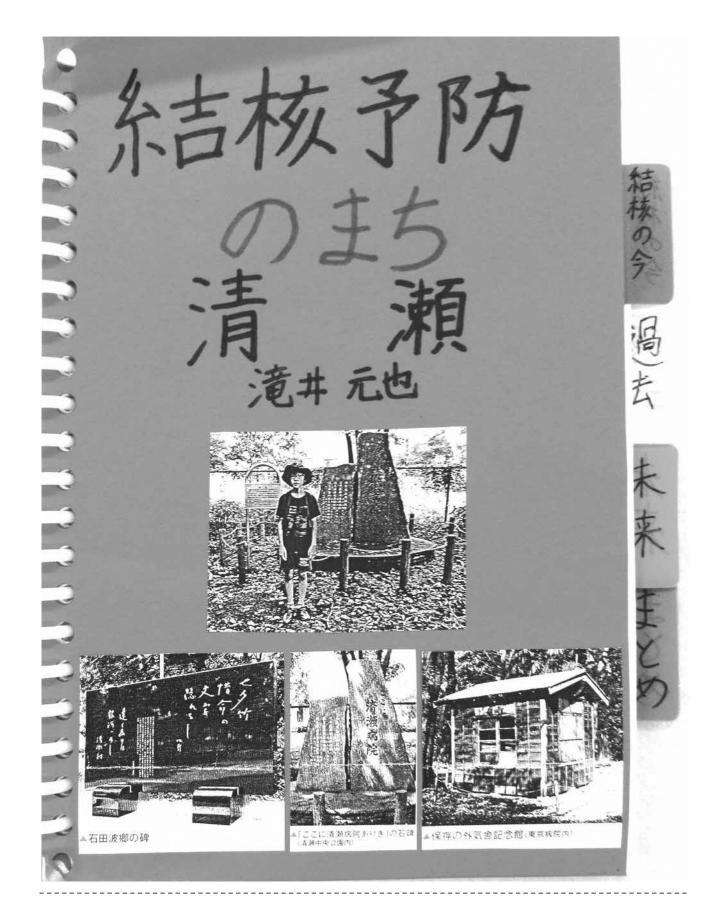


シロバナタンポポを
さがして清頼中勢をました。
かかなか見っからなくて、や。と
5月5日に金山公園の北がわで
見っけるとができました。白い花の
タッボがは本当に咲いていたので
うれしかれでは、シロバナタッズボ
について調べてみなく日本の西がわ
(中国をお、四国、九州)には99いことが
わかりました。関東でもは、とても
少な、東北地方にお為してよることで
カかりました。関東でもは、とても
ですが、それよりたは 見られない
そうですが、それよりたは 見られない
そうです。

関東地方では めずらしいシロバナ かポポ が 清瀬で見っけることが できて、この自然を大田にしたいと 思いれた。

結核予防のまち清瀬

清瀬第十小学校 6年 滝井 元也





委員会推薦賞

作文部門



家族は私にとって かけがえのないもの

都立清瀬特別支援学校 高等部3年 正木 亜門

家族は私にとってかけがえのないものです。それは、他人や友人などから、私の悪い所を指摘される事は、少ないと思いますが、 家族だと良い事も悪い事も細かい所まで、多数指摘してくれるからです。

ほかにも、経験として、家族が旅行へつれて行ってくれたりもします。旅行へつれて来てもらって良い事は、自然を大いに満喫できる事や興味などが広がっていく事です。

三つ目、将来やりたい事や願望をサポートしてくれたりもします。家族からのサポートがなければ、その将来への大切な第一の可能性が消えてしまったり、落ち込んでしまいます。

四つ目は、手伝いや家の 仕事などをしてお小遣いを 貰えるのも家族だけだと思 います。

家族からお小遣いを貰う 事でお金を貰らった喜びや 好きな物を買える嬉しさな どが味わえます。「ありがとう」と感謝してもらう事で分かります。

私の家族は、祖母や祖父です。祖母と祖父 が利用する「デイサービス」は、主に、食事 や入浴などのサービスが受けられる所です。

こうなると、か弱い祖母や祖父が今まで やってきた家の事をしっかりと手伝わないと いけません。「掃き掃除」「草むしり」家の中 では、「皿洗い」など家の事が数多くあります。 このような多くの家の手伝いをしないと、家 の中だと、衛生上に問題がでてしまい虫が湧 いてしまったり、外では、草が生え放題で、 近所迷惑、庭へ歩くのが大変になり、安全で はなくなってしまいます。

家の手伝いや仕事をするのは大変ですが、 これからは、もっと祖母や祖父の事など考慮 をして、するサポートと配慮をした手伝いを 沢山、丁寧にできたら一番良いなとおもいま した。

ポスター部門





清瀬ゆりかご幼稚園 年長 清水 拓真

実践活動団体部門



清瀬小学校・ サタデースクールダンスチーム

清瀬小学校では、学校支援本部が中心となりサタデースクールを開講しております。サタデースクールは、土曜日の午前中を利用し他学年との交流や楽しく様々な経験をすることによって、子供たちに『心・技・体』を身に付けてもらえるように活動しております。サタデースクールは、バスケットボール、卓球、漢検・ゲーム作文、将棋、サッカー、英語、ダンスの7講座開設しており、地域の方々のご協力のもと活発な活動を行うことができています。

サタデースクールのダンス講座は、 2018年度より開講した講座です。

昨今、ダンス必修化をきっかけにメディア

でもダンスが注目されることが増え、習い事としてもメジャーなものとなって参りました。ただ踊るということだけでなく、自分に自信をもつなど精神面の成長にも非常に効果があり子供たちもダンスを通じて、音楽に合わせて体を動かすことの楽しさや、自由に自分自身を表現することの大切さに触れてほしいという想いでレッスンをしております。

レッスンでは、主にヒップホップダンスを 中心に、初心者から経験者まで楽しめるよう に幅広く実施しております。

清瀬小学校学校支援本部コーディネーター 池田 泉 諸川 幸子

サタデースクール講師 伊藤 佑将

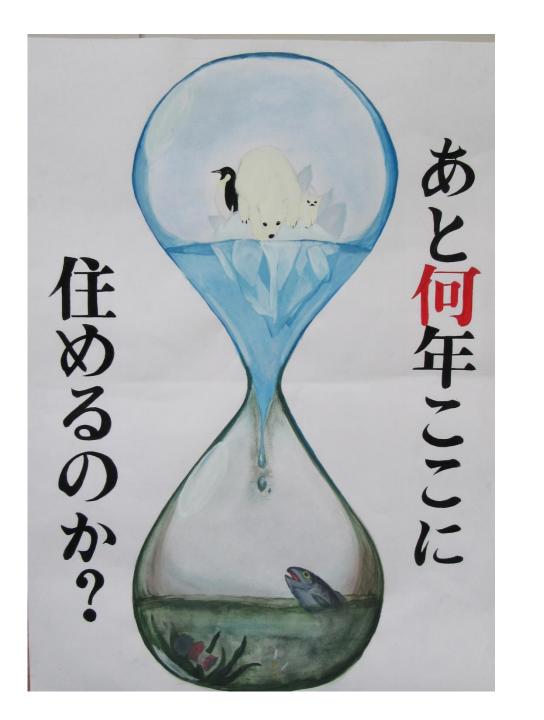






ポスター部門



























学習発表部門



